

体育(保健体育)科の授業づくりスタンダード

単元指導計画の作成

東濃教育事務所

動きが高まる
単元の完成!



⑤ 場面設定(特に苦手な児童生徒が練習できる場、教具、コートサイズ等)やルールの工夫、チーム編成をする

④ 実態⇒習熟の道筋⇒身に付けたい動きを踏まえて、毎時間の目指す技能を明らかにする

③ その動き(種目や技)を身に付けるための一番重要な技能と、どのような過程を経て動きは高まるのかを明らかにする

① 単元で身に付けたい技能を具体的に描く(学習指導要領)

② 丁寧な児童生徒の実態把握(体力テストの結果やレディネステスト等から)

体育(保健体育)科の授業づくりスタンダード

1 単位時間の授業
東濃教育事務所

④ 発表会・記録会

③ 練習・ゲーム(中間交流会)

【状況に応じて行う中間交流会】

<意図>

- ① さらに動きを高めるため
- ② 目指す動きや技術ポイントの意識を強化するため
- ③ 新たな技術ポイントを共有するため
- ④ 仲間の動きの高まりを喜び合うため

① 準備、準備体操(運動)

【効果的な準備体操(運動)】

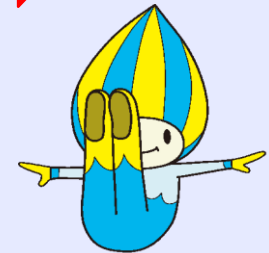
- ・主運動につながる準備運動を導入する
- ・楽しく取り組める工夫をする(回数・得点化で競争)

⑤ 全体会:振り返り

【高まりが実感できる振り返り】

- ・姿点(段階表の点数など)や勝敗と動きの高まりをつないで価値付ける

⑥ 片付け



② 全体会:課題づくり

【見通しが明らかになる課題提示】

- ① 「目指す動き」→「技術ポイント」→「コツ」→「練習方法」をおさえる
- ② 見合い教え合いの仕方(相互援助活動)を具体で示す
- ③ 全体課題を受けて、自分たちのグループはどうするか(グループ課題)、自分はどんなことを課題にして本時取り組むか(個人課題)を決めることができるようにする